

平成 27 年度 第 2 回 五泉市地域公共交通活性化協議会

日時 平成 28 年 3 月 14 日(月)

14 時 00 分～

場所 五泉福祉会館 3 階 大会議室

議 事 次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

- (1) 平成 27 年度 ふれあいバスの利用状況について
- (2) 平成 27 年度 ごせん乗合タクシー「さくら号」の利用状況について
- (3) 平成 28 年度 事業の実施計画案について
- (4) 平成 28 年度 予算案について

4 その他

- (1) 平成 27 年度 地域公共交通確保維持改善事業に関する二次評価について
- (2) ふれあいバス・さくら号に係る要望事項の検討について

5 閉 会

【配布資料】

◇議事次第 ◇出席者名簿 ※当日配付 ◇配席図 ※当日配付

資料 1	ふれあいバス、ごせん乗合タクシー「さくら号」利用の推移	事前配布(同封)
資料 2	平成 27 年度 ふれあいバス利用状況	事前配布(同封)
資料 3	平成 27 年度 ごせん乗合タクシー「さくら号」利用状況	事前配布(同封)
資料 4	平成 28 年度 五泉市地域公共交通活性化協議会事業実施計画(案)	事前配布(同封)
資料 5	平成 28 年度 五泉市地域公共交通活性化協議会予算(案)	事前配布(同封)
資料 6	平成 27 年度 地域公共交通確保維持改善事業に関する二次評価について	事前配布(同封)

平成 27 年度 第 2 回 五泉市地域公共交通活性化協議会 出席者名簿

【敬称略】

	所 属	役 職	氏 名	備 考
1	五泉市	市長	いとう かつみ 伊藤 勝美	会長
2	新潟交通観光バス株式会社	代表取締役社長	ふるかわ こういち 古川 公一	代理出席 常務取締役 古田 哲
3	蒲原鉄道株式会社	代表取締役	しげの かずひろ 茂野 一弘	
4	東日本旅客鉄道株式会社 新潟支社総務部企画室	室長	まえかわ さちこ 前川 幸子	欠席
5	泉観光バス株式会社	代表取締役	せきづか まさゆき 関塚 政行	
6	公益社団法人 新潟県バス協会	専務理事	たかはし せいきち 高橋 清吉	欠席
7	みどりハイヤー株式会社	運行管理部長	かねこ あきら 金子 了	
8	新潟県新潟地域振興局 新津地域整備部	部長	たなはし げん 棚橋 元	代理出席 副部長 伊藤 聡
9	五泉市都市整備課	課長	つかの かずや 塚野 一也	
10	新潟県五泉警察署	署長	ふるかわ ひさし 古川 尚史	代理出席 交通課長 五十嵐 武志
11	五泉市老人クラブ連合会	理事	わたなべ てるお 渡邊 照男	
12	五泉市小中学校 PTA 連絡協議会	副会長	かさばら みの 笠原 實	
13	長岡技術科学大学	教授	さの かずし 佐野 可寸志	副会長 欠席
14	国土交通省北陸信越運輸局 企画観光部交通企画課	課長	たむら けい 田村 圭	代理出席 国土交通事務官 上野 優太

	所 属	役 職	氏 名	備 考
15	国土交通省北陸信越運輸局 新潟運輸支局	首席運輸企画専門官	しらすな ちか 白砂 千佳	
16	新潟県新潟地域振興局 企画振興部	部長	いいひら よしふみ 飯平 喜文	
17	新潟市秋葉区地域課	課長	ながさき しのぶ 長崎 忍	
18	加茂市福祉事務所	所長	あおやぎ よしき 青柳 芳樹	
19	阿賀野市総務課	課長	こばやし まさお 小林 正男	代理出席 主任 星 豊
20	五泉商工会議所	専務理事	おやなぎ たかし 小柳 隆	監査員
21	村松商工会	事務局長	よこやま よしなり 横山 芳成	監査員
22	五泉市商工観光課	課長	たきざわ かずゆき 瀧澤 一之	
23	五泉市社会福祉協議会	会長	ひうら みつお 樋浦 三男	
24	五泉市健康福祉課	課長	あさい たかこ 浅井 隆子	
25	日本労働組合総連合会 新潟県連合会 下越地域協議会五泉支部	支部長	さとう よしのり 佐藤 良徳	欠席
26	五泉市高齢福祉課	課長	くまくら じゅんや 熊倉 淳也	
27	五泉市教育委員会 学校教育課	課長	すぎやま しんじ 杉山 信二	

【事務局】 五泉市企画政策課

■議事録

開会 14:00	
司会 (林補佐)	定刻になりましたので五泉市地域公共交通活性化協議会を開会いたします。お手元の次第に従いまして進めさせていただきます。最初に伊藤会長からご挨拶を申し上げます。
伊藤会長	<p>本日はご多用の中、ご出席をいただきまして大変ありがとうございます。また日頃は、五泉市政運営に関しまして、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。</p> <p>さて、平成22年10月の、ふれあいバスと乗合タクシー「さくら号」の運行開始以来、委員の皆様には多大なるご支援、ご協力をいただいております、重ねて感謝申し上げます。</p> <p>おかげさまをもちまして、地域に密着した移動手段として定着してまいりましたし、市民にとって大切な公共交通として順調に運行しているところでございます。</p> <p>本日は、これまでの利用状況と平成28年度の実施計画、予算案についてが、主な議題となっております。それぞれの分野からお越しいただいている委員の皆様でございますので、忌憚のないご意見、また、幅広い視点でご指導いただきますようお願い申し上げます。ご挨拶に代えさせていただきます。よろしく願い申し上げます。</p>
司会 (林補佐)	それでは、これより議事に入りますけれども、進行を伊藤会長からお願いしたいと思います。
伊藤会長	はい、議事の進行をさせていただきます。よろしくご協力のほどお願い申し上げます。議事に入る前に、本協議会規約第12条第2項の規定により、「会議の成立は委員の過半数」となっておりますので、委員の出席数を事務局から報告してください。
事務局 (高橋主事)	委員の出席状況についてご報告をさせていただきます。委員27名中、ただいまの出席は23名です。
伊藤会長	<p>今ほど、事務局から27名中23名の出席との報告がありましたので、この会議は成立しております。それでは議事に入ります。</p> <p>「(1)ふれあいバスの利用状況について」、「(2)ごせん乗合タクシー「さくら号」の利用状況について」を議題とし、事務局から説明を求めます。</p>
事務局 (塚野係長)	<p>はい、説明に入る前に、本日の資料の確認をさせていただきます。</p> <p>資料の確認</p> <p>それでは、説明に入りたいと思います。</p>
事務局 (内川主査)	<p>「(1)平成27年度 ふれあいバスの利用状況について」、「(2)平成27年度 ごせん乗合タクシー「さくら号」の利用状況について」ご説明させていただきます。</p> <p>まず、資料1をご覧ください。ふれあいバス、ごせん乗合タクシー「さくら号」利用の推移となっております。青色の部分がふれあいバス、ピンク色の部分がさくら号です。いずれも上段が1.年間利用者数、下段が2.年間運賃収入となっております。ふれあいバス、さくら号ともに、平成22年10月の運行当初より右肩上が</p>

りで増加しておりましたが、5年を過ぎた平成27年度におきましては、どちらも減少する見込みとなっております。こちら平成27年度の見込の算出方法といたしましては、4月から2月までの実績値から前年比率を算出いたしまして、昨年3月分にその比率を乗じて見込を出しております。右側の棒グラフをご覧くださいますと、上段「ふれあいバス利用者数」が平成26年度に比べ538人の減、下段「さくら号利用者数」は2,906人の減と見込んでおります。

議事(1)平成27年度 ふれあいバスの利用状況について

[資料2](#)をご覧ください。平成27年度ふれあいバス利用状況(平成28年2月末現在)ということで、1.月別利用者数と2.平均利用者数が記載されております。こちら、ふれあいバスの利用者減少の要因といたしましては、平成27年度の冬期間の利用者が昨年ほど伸びなかったという点です。

1.月別利用者数の12月をご覧ください。上段が平成26年度、下段が平成27年度となっております。平成26年度は11,900人、平成27年度は10,491人ということで、1,409人の減、前年同月比は88.2%となっております。平成26年度の利用者11,900人というのは、ふれあいバスが運行して以来、過去月間最多乗車人数となっております。平成26年12月は降雪量が平年より多く、気温の低い日も続いておりましたが、平成27年度は1月下旬までほとんど積雪がなかったことが利用者減の主な要因と思われる。

下段の折れ線グラフをご覧くださいますと、赤い線が平成27年度となっております。12月、1月が平成26年度よりも下がっており、その他に5月も下がっております。5月につきましては、前年度に比べ平日の運行日数が2日少なかったことによるものと思われる。5月の2.平均利用者数をご覧くださいますと、平成27年度は平日457.9人、土日祝日では119.2人となっており、平日は土日祝日の約4倍の利用者数となっていることから、平日2日分の運行が影響していると思われる。

つづきまして、3.バス停別利用状況(大人・学生)ということで、季節ごとに年4回実施している乗降調査のデータから、バス停別の利用状況をグラフに表したものです。乗降調査は、それぞれの期間、一週間すべての便において乗った人、降りた人の人数を調査したものです。バス停別の利用状況を見ますと、利用者が特に多い「五泉駅」、「村松駅」が、一般、高校生の利用者ともに多く、公共交通の基点として多くの方から利用いただいております。また「五泉高校前」、村松高校最寄りのバス停であります「学校町一丁目」につきましては、学生の通学に多く利用されており、その他「五泉市役所」、「さくらアリーナ前」等の公共施設、また「南部郷総合病院前」もほかのバス停より多くなっております。

つづきまして4.収入をご覧くださいたいと思います。4月の乗り放題券収入が前年度より165,000円多いほか、4月から2月末までの合計で比較いたしますと、乗り放題券の収入が198,600円増となっております。平成27年度は1か月

の乗り放題券よりも、2、3か月の乗り放題券の販売が増加いたしました。

右下の円グラフの赤い部分、乗り放題券42.3%となっておりますが、昨年よりも1.1%増えており、年々少しずつですが乗り放題券の割合が多くなっております。ふれあいバスを定期的に利用していただいている方が増えていることがうかがえます。

議事(2)平成27年度 ごせん乗合タクシー「さくら号」の利用状況について

つづきまして資料3をご覧ください。平成27年度 ごせん乗合タクシー「さくら号」利用状況(平成28年2月末現在)です。

1.利用登録者数ですが、合計7,452人、実利用者数というのは平成27年4月1日から平成28年2月29日まで実際に利用していただいた人数で、1,834人となっております。五泉市の人口のうち、利用登録者の割合は14.1%となっております。登録者の割合は、女性が62.0%と男性より多くなっております。

また、2.利用登録世帯数といたしまして、合計3,899世帯、実利用世帯数1,554世帯、五泉市の世帯数のうち利用登録世帯の割合は20.8%となっております。地区別割合は、五泉地区が60.7%となっております。実利用者数の推移といたしまして、平成27年度は1,869人を見込んでおります。また実利用世帯数は1,621世帯を見込んでおります。

つづきまして、3.月別利用者数をご覧ください。表下に前年同月比がございます。4月のみ、106.1%と伸びておりましたが、その後は平成26年度の利用者に届かず、12月におきましては平成26年度5,157人、平成27年度4,382人と775人減、前年同月比85.0%となっております。平成26年度12月の5,157人という利用者数は、ふれあいバス同様過去月間最多乗車人数となっております。

主な減少要因といたしましては、冬期間の降雪量もございますが、年間を通して減少となった要因として、次のページをご覧ください。5.年代別利用者数がございます。4月から2月までのグラフとなっております。緑色が平成26年、オレンジ色が平成27年となっております。比較いたしますと小学生で1,530人の減、また、80代で2,230人の減となっております。まず小学生の減少理由ですが、平成27年4月から十全小学校が閉校となり、村松小学校へ通学するようになりました。平成26年度までは、十全小学校の児童が学童クラブへ通う際に、毎日さくら号を利用しておりましたが、現在は村松小学校から学童クラブまでバスを利用しております。また、大蒲原小学校の児童も平成26年度までは学童クラブに通っていた児童がいらっしゃいましたが、平成27年度からは利用者がいなくなってしまい、いずれも学童クラブまで乗車するさくら号の利用がなくなってしまいました。また、80代の利用者につきましては、週に3~4回、病院及び買い物等で利用していた常連の利用者の方が高齢化のため、利用回数が減少、または利用しなくなったことが主な減少理由となっております。この年代別利用者の内訳をご覧ください。一目瞭然ではございますが、70代・80代の利用者が主となって

	<p>おり、合計で25,426人、全体の56.4%です。また、60代から90代の利用者合計では、32,354人、全体の71.8%となります。90代のとなりの欄に不明とありますのは、さくら号は基本的に利用登録をさせていただいておりますが、中には、登録者と一緒に一回限りで同乗する方等が利用登録をせずに乗車しており、その分が不明と表示されております。</p> <p>6.乗降場所の傾向ですが、乗降場所ランキングをご覧くださいますと、青が乗車、赤が降車の数となっております。今までは、医療機関で降りてスーパーで乗る方が多かったのですが、今年度は医療機関で乗る方も増えております。これは平成27年9月から10月にかけて、村松地区の大型スーパーが改装のため閉店していたこと、また、五泉地区のスーパーでも、平成28年2月に平日5日間店舗改装で閉店していたことが、医療機関から直接乗車された要因と思われます。</p> <p>次のページ、7.時間帯別利用状況です。こちらはピンク色の部分が郊外発→市街地行き、水色の部分が市街地発→郊外行きの便となっております。</p> <p>郊外発では、9:00便、10:00便の利用がピークとなっており、市街地発では、12:30便がピークとなっております。こちらは、9:00便、10:00便でお出かけされ、12:30便で帰宅される方が多くなっているということがうかがえます。</p> <p>つづきまして8.収入です。下段の折れ線グラフ、赤い線が平成27年度となっております。利用者数の減少に伴い、平成26年度の緑の線より下回っております。右下の円グラフでは、運賃(現金)利用が47.3%、回数券利用が46.5%ですが、前年より運賃(現金)が1.8%減、回数券収入が1.3%増となっております。ふれあいバス同様、年々制度を理解された方が、より便利な回数券を利用されているということがうかがえます。以上です。</p>
伊藤会長	<p>(1)平成27年度 ふれあいバスの利用状況について (2)平成27年度 ごせん乗合タクシー「さくら号」の利用状況について ご質問等ございませんでしょうか。</p> <p>質疑なし</p> <p>ないようでございますので、議事の「(1)平成27年度 ふれあいバスの利用状況について」と、「(2)平成27年度 ごせん乗合タクシー「さくら号」の利用状況について」は承認ということで次に進めさせていただきます。</p> <p>「(3)平成28年度 事業の実施計画(案)について」、「(4)平成28年度 予算(案)について」事務局の説明を求めます。</p>
事務局 (内川主査)	<p>議事(3)平成28年度 事業の実施計画(案)について</p> <p>はい、それでは資料4をご覧ください。平成28年度 五泉市地域公共交通活性化協議会 事業実施計画(案)です。まず、1.ふれあいバス運行についてです。運行形態は、道路運送法第4条による一般乗合運行(定時定路線型)を継続いたします。運行日・運行ダイヤも、年末年始(12月31日～1月3日)を除き、毎日運行といたします。また、他の公共交通機関との連携を考慮した運行ダイヤを設定し、利用者の利便を図っていきます。運賃につきましては、中学生以上200円、</p>

	<p>小学生100円、未就学児無料と、今までと同じように運賃を設定していく予定でございます。</p> <p>次のページ、運行車両です。中型車両1台、小型車両2台の計3台を、五泉市から五泉市乗合バス協議会へ貸与し、運行を行います。乗降調査につきましても、年4回実施いたします。一週間連続で全ての便で行う予定です。</p> <p>つづきまして、2.ごせん乗合タクシー「さくら号」運行についてです。運行形態は、道路運送法第4条による区域乗合運行を継続いたします。利用方法は事前予約制とし、予約受付、配車は、ごせん乗合タクシー「さくら号」受付センターが行います。運行エリアは、市内を3つの基本エリア(五泉東、五泉西、村松)に区分し、2か所の共通エリア(五泉共通、五泉東・村松共通)を設けます。運行日は月曜日から土曜日までとし、休日、お盆(8/14～16)、年末年始(12/31～1/3)は運休といたします。運賃は、中学生以上300円、小学生150円、未就学児無料とし、今までと同様の運賃とさせていただきます。</p> <p>次に、3.公共交通利用促進事業についてです。五泉市公共交通時刻表の作成を行います。ふれあいバス、乗合タクシー「さくら号」、高速バス、民営路線バス、加茂市営市民バス等、市内を運行する公共交通に関する総合パンフレット(五泉市公共交通時刻表)を作成いたします。地域住民、利用者へのPR活動といたしまして、通学での利用が多いふれあいバスにつきましては、市内高校の新入生に向けた利用PRを行ってまいります。</p> <p>また、ごせん乗合タクシー「さくら号」の利用を進めるため、高齢者を対象とした利用促進のPR活動を行ってまいります。市内の公共施設、病院、医院等へ総合パンフレットを配布し、公共交通利用について広く市民へ周知を行ってまいります。広報ごせんに、ふれあいバス、ごせん乗合タクシー「さくら号」の利用方法やこれまでの運行実績等を掲載し、利用促進のPRを行ってまいります。五泉市ホームページを利用し、ふれあいバスやごせん乗合タクシー「さくら号」の時刻表や運行概要を掲載することにより、利用者へ情報提供を行ってまいります。</p>
<p>事務局 (塚野係長)</p>	<p>議事(4)平成28年度 予算(案)について</p> <p>つづきまして、平成28年度予算(案)でございますが、資料5をご覧ください。</p> <p>まず歳入です。1款の負担金、こちら五泉市からいただく負担金ですが、前年度より3,459,000円増の50,420,000円ということで見込んでおります。ごせん乗合タクシー「さくら号」の運賃収入が減少していること、また、返還金ということで、国の補助金が減少しているということ、その分の負担を五泉市にお願いするものであります。2款の繰越金につきましては、2,000,000円で前年と同額です。3款諸収入です。ふれあいバスの運賃収入につきましては、17,000,000円ということで、資料1の決算見込を見ていただいて、これくらいは大丈夫だろうということで見込を立てました。さくら号の運賃収入につきましても、先程減少しているという説明をさせていただきましたが、14,000,000円ということで見込んでおります。また、返還金15,530,000円ですが、国からいただいた補助金が、</p>

	<p>五泉市地域公共交通活性化協議会には直接入らずに、バス事業者さん、タクシー事業者さんに入るようなかたちになりますので、それを協議会に戻していただくということです。国の補助金の関係で上限額が下がったということで、2,000,000円ほどの減額ということになっております。歳入合計は98,950,000円という見込を立てております。</p> <p>次に歳出ですが、1款運営費1項会議費、こちらは委員報酬ですとか、委員の費用弁償ということで、前年通り見込んでおります。また、2項事務費につきましても、消耗品や振込手数料ということで、同様に見込を立てました。それから2款事業費でございますが、平成27年度より985,000円増の98,773,000円ということで、内訳としましては、ふれあいバス運行委託料ということで、バス事業者さん3社に委託をしておりますが、平成27年度の委託額が42,370,000円となっております。管理費の増額等、いろいろと要望が出ておりますので、若干余裕を見ております。また、さくら号運行委託料につきましては、今年度の契約は42,241,000円となっておりますが、こちらもタクシーの入れ替えに伴う減価償却費の増加ということでお話を伺ったりしておりますので、その辺り若干の余裕を持って見込んでおります。また、受付センター運営委託料につきましては、社会福祉協議会さんをお願いしており、今年度の委託額は7,450,000円です。今年度の賃金単価は変わりませんが、営業日の関係で1日減になったということでほぼ同額の予算を見込んでおります。また、さくら号の受付配車システムの更新費用ということで、少しこれ書き方が悪かったんですが、更新については今年度の8月に終了しております。8月にシステムを入れ替えたため、平成27年度は12か月のうちの8か月分だけ新システムの費用を見込んでおりました。平成28年度は12か月分を見込んだということで、システムの利用料や保守委託料等が昨年より若干増えております。また、逆に旧システムの保守委託料が500,000円ほど不要になり、システム入れ替えの際一回のみの工事費ということで、400,000円ほどかかっておりましたが、こちらも不要になりました。これらを差し引きしまして予算は985,000円の増と見込を立てさせていただきました。また3款諸支出金、4款予備費につきましては、前年同額と見込みまして、歳出の合計は98,950,000円、前年度比較で986,000円、約1%の増ということで予算を立てさせていただきました。以上、よろしく願いいたします。</p>
伊藤会長	<p>「(3)平成28年度 事業の実施計画(案)について」並びに「(4)平成28年度 予算(案)について」説明いただきましたが、ご質問等ございませんでしょうか。</p> <p>質疑なし</p> <p>無いようでございますので、議事の「(3)平成28年度 事業の実施計画(案)について」と、「(4)平成28年度 予算(案)について」はご承認いただけますでしょうか。異議ございませんでしょうか。</p> <p>異議なし</p> <p>ありがとうございました。異議なしということで、案の通りご承認いただきまし</p>

	<p>た。</p> <p>つづきまして、4 その他「(1)平成27年度 地域公共交通確保維持改善事業に関する二次評価について」事務局の説明を求めます。</p>
事務局 (内川主査)	<p>その他(1)平成27年度 地域公共交通確保維持改善事業に関する二次評価について</p> <p>はい、それでは資料6をご覧ください。平成28年1月5日付で、委員の皆様より書面協議をお願いいたしまして、ご承認いただき、それを運輸局へ報告をさせていただきますました。</p> <p>その後、北陸信越運輸局長より、2月26日付で二次評価の結果が届きましたので、ご報告させていただきます。次のページ、横長のA4の表をご覧ください。</p> <p>まず、ごせん乗合タクシー「さくら号」の五泉東エリアと西エリアがございます。両方とも事業実施の適切性はA評価、目標・効果達成状況A評価とさせていただきますました。事業の今後の改善点といたしましては、「今後も利用者数を維持するため促進に係る啓発等を推進していくとともに、利便性の向上に努める。」ということにさせていただきますました。それをもとに地方運輸局から二次評価の結果が届いております。「事業実施の適切性及び目標・効果達成状況は自己評価の通りである。事業の今後の改善点については、具体的な改善策の実施について、地域一体となり進めるよう期待します。」</p> <p>また、下段の村松エリアにおきましては、事業実施の適切性はA評価、目標・効果達成状況としまして、「目標値前年度100%以上に対し、93.3%であり、目標を達成できなかった。通勤、学童利用者の減少が理由と考えられる。」ということで、B評価とさせていただきますました。事業の今後の改善点といたしまして、「利用者の動態を精査し、利用促進に向け重点的に啓発活動を行っていく。」という改善点を提示させていただきますました。それに伴い、二次評価の結果といたしまして、「事業実施の適切性及び目標・効果達成状況は自己評価の通りである。事業の今後の改善点については、利用状況の分析を進め、示された改善策のみならず、あらゆる観点で利用者の増加に向けた改善策をご検討いただくとともに、具体的な改善策の実施について、地域一体となって進めるよう期待します。」という評価結果をいただきました。報告は以上です。</p>
伊藤会長	<p>「(1)平成27年度 地域公共交通確保維持改善事業に関する二次評価について」ご質問ございませんか。</p> <p>質疑なし</p> <p>無いようでございますので、もう一点「(2)ふれあいバス・さくら号に係る要望事項の検討について」説明を求めます。</p>
事務局 (塚野係長)	<p>その他(2)ふれあいバス・さくら号に係る要望事項の検討について</p> <p>急遽 追加となりますが、「(2)ふれあいバス・さくら号に係る要望事項の検討について」ということで、説明をさせていただきます。資料1の説明でもありましたが、平成22年10月にこのふれあいバス、さくら号の運行を開始して5年を経過</p>

	<p>したところですが、その間利用者は右肩上がり順調に増加しておりました。それが、先程の説明にもありましたように、6年目を迎えて頭打ち、減少傾向に転じているといったような時期にさしかかりまして、今まで、いろいろな方からご意見をいただいていたのですが、これらの様々な課題について、検討が必要な時期にきているのかなというふうに認識しております。利用者であります市民の方をはじめ、市議会におきましても、ご意見、ご要望を頂戴しております、対応できるものはすぐ対応するというので、JRのダイヤ改正に合わせた乗り継ぎ時間の改正や、バス停に屋根付きの待合所を整備する、それからまた運転手等に対する苦情等については、すぐに改善しまして、利用者の利便性向上に努めてきたところではあります。その他に、ふれあいバスの関係では、村部への運行経路の拡大、朝晩の通学時間帯の混雑に対する対応、また、土・休日や年末年始も平日並みの運行ダイヤに、ということをご要望等をいただいております。</p> <p>また、さくら号の関係では、五泉東、五泉西、村松エリアということで、各エリア内のみの運行ということにさせていただいておりますけれども、エリアの撤廃、あるいは拡大というようなお話をいただいております。また、乗り継ぎをしなくても、五泉～村松間を行ったり来たり出来るようにしてもらいたいというような、様々なご意見をいただいております。こういったご要望の中には、市街地及び五泉～村松間はふれあいバスを利用していただい、郊外はさくら号を利用していただくという、現在の運行システムの見直しが必要となってくるような要望も多く出されております。これらにつきまして、今後事務局で近隣の事例等を参考にしながら、協議会の皆様とご相談させていただければというふうに考えております。</p> <p>今日は要望の集約ですとか、整理というのが間に合わなかったのですが、もう少しお時間をいただきまして、これらの要望等を整理して、委員の皆様からご意見を聞かせていただきながら、検討を進めていきたいと思っております。</p> <p>事前配布の資料の中にこの議題がなかったものですから、今日すぐに皆様から意見を出していただくというのなかなか難しいとは思いますが、皆様普段考えていらっしゃる、ふれあいバス、さくら号の利便性の向上等についてのご意見・ご要望等がございましたら、この場に出していただい、それをもとに事務局のほうで検討を進めていきたいと考えておりますので、急なお願いで申し訳ありませんが、よろしくお願いいたします。以上です。</p>
伊藤会長	はい、要望事項の検討について、いろいろな問題点が上がっているわけであり、皆様から何かご質問・ご要望等ございませんでしょうか。
新潟運輸支局 白砂さん	平成27年度もふれあいバス、さくら号ということで事業を進めていただきまして、利用者も今までは順調にきていたところ、ちょっと減ってきたというような事業の分析も見させていただきながら、皆様のご協力の下で運行していただいありがとうございます。最後、要望事項の検討ということでお話しいただいたのですが、五泉市さんの場合、ずっとデータをとっていますし、いろいろな分析をされて、どこをどういうふうにしていけばいいのかということをお話出来

	<p>るような状態であるのかなと、ふれあいバスなんかは、先程の報告でもあったように天気が良ければ学生さんは自転車に乗って通学等という要素もかなり含まれているかなと思います。そこはそこで見ていただきながら、やっぱりそうじゃないところでどういったような利用促進が出来るのかなということでご検討いただいて、進めていただければと思います。</p> <p>事業評価のほうですけれども、私ども毎年、一年間運行していただいて振り返りをして、また次年度以降のより良い運行ということで繋げていただくという部分で、本局のほうでも、五泉市さんの分析、きちっとされていただいているということで評価させていただいておりますので、引き続きこの辺のところも、やっぱり地域の特性もどうしてもありますし、その辺を踏まえてきめ細かい分析、次の対応ということでお願いできればと思います。引き続きよろしく申し上げます。</p>
伊藤会長	<p>ありがとうございました。他にございますか。</p> <p>質疑なし</p> <p>それでは、その他に事務局で何かございますか。</p>
事務局 (落合課長)	<p>私どもで用意した議題は以上でございますが、これからも総合的な分析また検討を重ねて様々な要望等に応えていくべく、また皆様方と協議させていただきたいと思っております。今日はありがとうございました。</p>
事務局 (塚野係長)	<p>もう一点、時刻改正について、ご報告をさせていただきます。例年、JRのダイヤ改正に合わせてふれあいバスの時刻表も改正しておりましたが、3月26日にJRのダイヤ改正があるということで、4月1日から若干ダイヤの見直しをして、今回JRさんの時刻改正が小規模だったということで、変わるのは2便ほどですけれども、時刻を改正しまして、またこういった冊子を作成しまして、3月25日号の広報と一緒に全戸配布をさせていただいて、周知をしていきたいと考えております。また、今回、視覚障がい者の方から、ご要望をいただいております。点字の時刻表を作ってくださいというようなお話がありました。実は平成22年に一度作ったきりですと作成していなかったのですが、点字の時刻表というものこのダイヤ改正に合わせて用意させていただきまして、ご利用いただきたいと考えております。以上、ご報告させていただきます。</p>
伊藤会長	<p>委員の皆様から、ございませんか。</p> <p>質疑なし</p> <p>運輸局の白砂さんから、事業評価ということで、評価いただきまして、今後、市民の公共交通のために皆様から、いろいろな意見を頂戴したいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。ご意見ないようでありますので、地域公共交通活性化協議会の会議を終了させていただきたいと思っております。事務局にお返しします。ありがとうございました。</p>
司会 (林補佐)	<p>それでは、以上をもちまして平成27年度第2回目の会議を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
閉会 15:00	